

# 出向者通信



No.6

2021年10月18日  
J R 東海労働組合

## 出向に行かれた先輩の 職場環境に唖然としました！

出向に行かれた組合員から出向先会社の職場における労働環境等に関するご意見が寄せられました。この組合員の職場は大手運送会社の配送センターで、業務内容は、来庁者の受付・検温や車の誘導などで、勤務時間は、24時間勤務と日勤と夜勤。

職場には着替えのためのロッカーは無く、六畳一間にカラーボックスがあるのみで、出退勤時、制服への着替えや食事もこの場所で済ませます。

24時間勤務の場合は仮眠時間はありますが、布団は一組しか無く共用です。寝室や風呂も無く、シーツ類の交換は10日に一度だそうです！更にこれから寒くなりますが、防寒具も共用です。

**風呂に入らないで布団を使用するのに、布団は共用でシーツ類の交換は10日に一度！衛生面の管理はこれで良いのでしょうか！？**

皆さんは、このような職場環境をどのように思いますか？

出勤して制服に着替え、着てきたものは自分の鞆に押し込み、カラーボックスに置いておくだけです。貴重品は自己管理。制服のポケットはいつもパンパンです！

JR東海会社は常に身だしなみや、服装の清正を口うるさく社員に躡てきました。そのような社員を、衛生面でも問題があるような職場環境に出向させることが、「適正に判断した会社」であり「総合的判断」の結果といえるのでしょうか？

物言う社員、組合員は関連会社以外に放逐し、「嫌なら辞めてしまえ！」と言わんばかりの対応です。

JR東海の出向規程では、関連会社又は団体等に勤務すると定められています。

「団体等」とはどこまでを指すのでしょうか？私たちは、出向規程の「団体等」とはJRに関係する団体で、鉄道・運輸機構(JR TT)や鉄道総合研究所等と認識しています。

これまで鉄道業を支えてきた社員の知識と経験も生かされず、畑違いの出向先会社を見つけてきて、強制的に社員を送り込むとは、とても社員を大事にしている企業とは言えません！

**私たちJR東海労は、決して泣き寝入りせず出向先での問題や労働条件改善に向けて取り組んでいきます。**

**皆様のご意見・ご相談をお待ちしています！**